

【施策の柱】(1)文化財の保護

細 施 策	①文化財指定等による保護				担当課	担当課評価		
					文化財保護課	B		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えていくために、文化財調査等の実施を通して隠れた貴重な文化財を見だし指定します。</li> <li>・市内に点在する遺跡を埋蔵文化財包蔵地に指定し、包蔵地内で開発工事が行われる際は試掘調査により埋蔵文化財の有無を確認し、確認された場合には工事計画により発掘調査をして記録保存します。</li> </ul>							
前年度の改善の方策等	文化財指定については、文化財保護審議会に上がった新指定文化財候補の調査を進めていきます。							
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財数266件。新たに市指定文化財を1件指定しました。</li> <li>・埋蔵文化財調査件数 発掘調査件数：8件(前年度比160%) 試掘調査件数：64件(前年度比 80%)</li> <li>・その他文化財調査件数 54件(前年度比257%)</li> </ul>							
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30				
	文化財調査件数(件)	13	21	54				
指標及び説明	【指標】 文化財数		【説明】 市・県・国指定等文化財数					
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実績値					目標値 (R2)
	件	264	H27 266	H28 265	H29 265	H30 266	R1	R2
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財の発掘調査は前年度比160%の増、試掘件数は前年度比80%の減となりました。埋蔵文化財調査は、民間の開発に伴うもので、計画的な調査が実施できないという課題があります。</li> <li>・その他の文化財調査件数は前年度比257%に増加していますが、文化財指定まで至らない場合もあります。</li> </ul>							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財調査は、民間の開発計画に合わせて、実施できるよう今後も努力していきます。</li> <li>・その他の文化財調査については、文化財指定に至らない資料についても、正確な調査を実施し、文化財保護審議会に報告していきます。</li> </ul>							

細 施 策	②文化財保護意識の啓発				担当課	担当課評価
					文化財保護課	B
施策の内容	国民の財産である文化財の価値を市民に知らせ理解を深めてもらうために、文化財保護意識の啓発に努めます。					
前年度の改善の方策等	啓発事業の内容をさらに充実させるとともに、公民館や学校教育への講師派遣に努めます。					
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡発表会参加者数：49人(前年度比70%)</li> <li>・文化財防火訓練参加者数：111人(前年度比 皆増)※前年度大雪のため中止</li> <li>・職員の講師派遣件数：20件(前年度比83%)</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	遺跡発表会参加者数(人)	60	70	49		
	職員の講師派遣件数(件)	16	24	20		
現状・課題	毎年行われる遺跡発表会・文化財防火訓練などの参加者数は、天候に左右され増減する傾向があります。平成29年度の講師派遣は、川越氷川祭の山車行事がユネスコに登録されたことによる講師依頼が多く、平成30年度はやや落ち着いたと考えられます。公民館・小学校等からの講師依頼には積極的に対応しています。					
改善の方策等	啓発事業は、実施について周知に努めるとともに、内容をさらに充実させます。公民館や学校教育への講師派遣は、今後も積極的に対応します。					

【施策の柱】(1)文化財の保護

細 施 策	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成	担当課		担当課評価
		文化財保護課		B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無形民俗文化財を地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援協力します。</li> <li>・後継者育成を積極的に支援します。</li> </ul>			
前年度の改善の方策等	平成29年度のアンケート調査結果をもとに、保存団体からの聞き取り調査をさらに進め、問題点などを把握し、個々の団体の実情に応じた対応を検討していきます。			
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗文化財保存修理件数：4件(前年度比 400%)</li> <li>・後継者養成事業実施団体数：17団体(前年度比 ±0)</li> <li>・後継者についての聞き取り 1件</li> </ul>			
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30
	民俗文化財保存修理件数(件)	3	1	4
	後継者養成事業実施団体数(件)	15	17	17
現状・課題	指定文化財については、後継者養成や使用する道具の修理などに技術的な指導や助言をし、補助金を支出しています。後継者養成については、現在、少子高齢化などの影響で、地域の伝統的な祭りや芸能の継承は困難な状況にあります。打開策が見いだせない状況です。			
改善の方策等	後継者養成や道具の修理については、保存団体に対して、適切に補助金を交付していきます。保存団体からの聞き取り調査をさらに進め、問題点を把握していきます。			

細 施 策	④有形文化財の保存と活用	担当課		担当課評価
		文化財保護課		B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定されている有形文化財の維持管理を継続的に行い、その保存に努めます。</li> <li>・博物館や関係各課と連携し、その活用を図ります。</li> </ul>			
前年度の改善の方策等	市制施行100周年記念として「川越市の文化財」改訂事業を始めます。この事業ではすべての指定文化財の現況を把握するカルテを作成するため、長期的な保存修理事業を計画できます。また、永島家住宅に関しては、さらに見学者を増やすために、活用方法を検討します。			
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財保存事業実施件数：30件(前年度比 120%)</li> <li>・永島家住宅(旧武家屋敷)の見学者数：2,673人(前年度比99%)</li> <li>・埋蔵文化財出土品貸出件数：8件(前年度比 89%)</li> <li>・カルテ作成のための調査：37件</li> </ul>			
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30
	指定文化財保存事業実施件数(件)	25	25	30
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財の所有者・管理者と協力して、文化財を後世に残すために適切な維持管理や、保存修理事業を実施し、公開に努めています。</li> <li>・近年、台風や大雪など突発的な災害で修理事業が発生することがあり、予定にない修理事業に対応する予算の必要性が増しています。</li> <li>・永島家住宅の公開は、一般公開の他、公民館歴史講座の利用もありましたが、見学者数は増加しませんでした。</li> </ul>			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「川越市の文化財」改訂事業にあわせ、指定文化財の現況を把握するよう努めます。</li> <li>・文化財緊急修理に対する補助金を確保するよう努めます。</li> <li>・永島家住宅に関しては、長期的な視野のもと、維持管理を行いながら、一般公開をしていきます。</li> </ul>			

【施策の柱】(1)文化財の保護

細 施 策	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実							担当課	担当課評価
								都市景観課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的建造物の保存修理など必要な事業を実施し、あわせて保存技術の継承や後継者の育成に努めます。</li> <li>・伝統的建造物の耐震化や自主防災体制の整備を検討します。</li> </ul>								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。								
平 成 3 0 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存修理事業(国庫補助対象)／長谷川家住宅土蔵:屋根工事・木工事・左官工事等の一部 勝治家住宅主屋:屋根葺き替え</li> <li>・地区の啓発パンフレット作成／伝建地区内の建築行為の許可と流れ、伝統的建造物MAP</li> </ul>								
指 標 及 び 説 明	【指標】 伝統的建造物の修理件数				【説明】 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業における大規模な修理事業の累計件数				
	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
指 標 の 推 移	件	57	H27 61	H28 64	H29 69	H30 71	R1	R2	76
現 状 ・ 課 題	伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、修理件数累計が想定目標値を上回っており、順調に進捗しています。								
改 善 の 方 策 等	保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。								

細 施 策	⑥河越館跡の整備・活用							担当課	担当課評価
								文化財保護課	B
施 策 の 内 容	郷土学習の場、市民の憩いの場として国指定史跡河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO法人、大学等と協働してその有効活用を図ります。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	市民の活用を促すために、HPなどを通じて利用案内を広く周知するとともに、これまで以上に活用できるような事業の創出、及び用地取得に向けて関係者との協議や整備計画の検討を行います。								
平 成 3 0 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河越館跡史跡公園(未整備地を含む)の活用を目的としたイベントを文化財・歴史の理解を前提とした内容で企画・実施しました。(1件)</li> <li>・未取得地の買収に向けて、地権者と協議を行いました。(7回)</li> <li>・河越館跡整備検討委員会を6年ぶりに開催しました。(1回)</li> </ul>								
成 果 実 績	項目名(単位)		H28	H29	H30				
	河越館跡地の史跡公園整備率(%)		30.4	30.4	30.4				
	河越流鏑馬見学者数(人)		4,500	2,200	3,400				
現 状 ・ 課 題	今年度の河越流鏑馬は、天候にも恵まれ盛況に開催できました。周知のため、新たに名細市民センターと市役所ロビーにおいて、パネル展を実施しました。多くの市民がこれまで以上に活用できるような事業について検討するとともに、次の整備に向けて関係者との協議が課題です。 また、今年度は、国庫補助を受け未買収地の買い上げを行う予定です。								
改 善 の 方 策 等	未買収地の買い上げを行うと同時に、河越館跡整備検討委員会を開催し、発掘調査や整備方法、ガイドダンス施設等保存活用について検討します。								

【施策の柱】 (1)文化財の保護

細 施 策	⑦山王塚古墳の整備				担当課	担当課評価
					文化財保護課	B
施 策 の 内 容	国内で最大規模の上円下方墳である山王塚古墳について、未来に伝えるべき貴重な文化財として、国指定史跡とすることを目指します。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	発掘調査の出土品、図面整理を速やかに行い、総括報告書を刊行します。					
平 成 3 0 年 度 績 実	平成25年度から29年度まで4回実施した発掘調査の成果や歴史的価値等をまとめた総括報告書を刊行しました。 また、発掘調査の成果をまとめた現地説明会を実施しました。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	川越市山王塚古墳調査検討委員会開催数(回)	2	1	1		
	山王塚古墳現地説明会見学者数(人)	120	698	102		
現 状 ・ 課 題	国指定史跡に向け文化庁に意見具申するための前提となる発掘調査成果などをまとめた総括報告書を刊行しました。今後は、庁内の関係部署と調整の上、地権者や地元自治会等への説明会などが必要となります。					
改 善 の 方 策 等	山王塚古墳の価値を周知させる普及・啓発事業を充実させながら、課題解決に努めます。					

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施 策 の 柱		(1)文化財の保護			
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施 策 評 価	①文化財指定等による保護	文化財保護課	B	B	B
	②文化財保護意識の啓発	文化財保護課	B		
	③無形民俗文化財の保存と後継者の育成	文化財保護課	B		
	④有形文化財の保存と活用	文化財保護課	B		
	⑤重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	都市景観課	A		
	⑥河越館跡の整備・活用	文化財保護課	B		
	⑦山王塚古墳の整備	文化財保護課	B		
学 識 経 験 者 意 見 等	文化財の活用の前提となるのは保存であるので、文化財の保護活動を重視していただき、それを前提とした活用計画を策定していただきたい。				

【施策の柱】(2)文化芸術の振興

細 施 策	①連携・協働による新たな文化芸術の創造							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	A
施策の内容	市民、市民団体、NPO法人、企業、大学等との連携や協働により、文化芸術の振興を図るとともに、相互の交流等を通じて、地域の魅力づくりとなる新たな文化芸術の創出に努めます。								
前年度の改善の方策等	引き続き、文化芸術団体や学校、各種団体等と連携・協働するとともに、本市の有する資源を活用した新たな文化芸術事業の創出に努めます。								
平成30年度実績	市民や市民団体等と連携・協働し、①川越市民文化祭、②川越市総合文化祭、③2音大クラシック・コンサート、④川越市美術展覧会、⑤大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル、⑥小江戸川越第九の会 第九演奏会、⑦高校生小説大賞、⑧文芸川越の発行など、定着してきた文化芸術事業のほか、新たに、⑨プレ・蔵と現代美術展、⑩小江戸川越市民音楽祭、⑪本を読む、文字に親しむ。「まちをめぐって、活版印刷体験」事業を実施しました。								
指標及び説明	【指標】 協働による文化芸術事業件数				【説明】 文化芸術団体等との協働による文化芸術事業件数				
	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
指標の推移	件	7	H27 8	H28 9	H29 8	H30 11	R1	R2	10
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術団体をはじめ、高校・大学等の学校や各種団体との連携・協働により、文化芸術事業を実施しています。</li> <li>定着してきた事業に、新規の協働事業も加わり、事業数は順調に推移しています。</li> </ul>								
改善の方策等	引き続き、文化芸術団体や学校、各種団体等と連携・協働するとともに、本市の有する資源を活用した新たな文化芸術事業の創出に努めます。								

細 施 策	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり							担当課	担当課評価
								文化芸術振興課	B
施策の内容	高校や大学との連携事業を推進するなど、若い世代が文化芸術事業に参加・活動しやすい環境を整えます。								
前年度の改善の方策等	引き続き、若い世代が気軽に良質な文化芸術に触れる機会を提供するため、企画内容や料金設定などを通して、より参加しやすい環境づくりに努めます。								
平成30年度実績	①尚美学園大学、東邦音楽大学と連携して、「2音大クラシック・コンサート」を開催しました。 ②「高校生小説大賞」を実施しました。 ③「川越市美術展覧会」の出品手数料に学生料金を設定するとともに、学生奨励賞を授与しました(4点)。								
成果実績	項目名(単位)		H28	H29	H30				
	2音大クラシック・コンサートの入場者数		1,113	691	899				
現状・課題	①2音大クラシック・コンサートは、2音大の協力とともに、低廉な入場料設定や高校生以下の招待に加え、小学生1名につき同伴者1名無料とし、事業の目標達成を推進しています。 ②高校生小説大賞は、年度により応募作品数に増減がありますが、おおむね順調に進捗しています。 ③川越市美術展覧会は、学生の出品点数はここ数年増加傾向が見られ、出品部門も拡大する等順調に進捗しています。								
改善の方策等	引き続き、若い世代が気軽に良質な文化芸術に触れる機会を提供するため、参加可能な事業の検討や周知に努め、企画内容や料金設定などを通して、より参加しやすい環境づくりに努めます。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱		(2) 文化芸術の振興			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①連携・協働による新たな文化芸術の創造	文化芸術振興課	A	A	A
	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	文化芸術振興課	B		
学識経験者等意見	<p>・事業が定着するには数年かかるため、長い視点での助成や援助に努めていただきたい。</p> <p>・川越の映画文化として、市内映画館との連携・協働についても配慮していただきたい。</p>				

【施策の柱】(3)文化芸術に触れる機会づくり

細 施 策	①文化芸術が身近にある環境づくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の文化芸術への関心や理解を深めるため、良質な文化芸術の鑑賞機会を提供します。</li> <li>市民が身近なところで、気軽に文化芸術に触れることができるよう、インターネットやSNS等を活用し、わかりやすく、魅力ある情報の提供に努めます。</li> </ul>					
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズを事業の企画に反映するなど、引き続き良質な文化芸術の鑑賞機会の提供に努めます。</li> <li>文化芸術メールを積極的に活用し、文化芸術のイベント・講座情報の一層の提供に努めます。</li> </ul>					
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェスタ川越大ホール等において、指定管理者がオーケストラ公演等の鑑賞事業や、レクチャーコンサート、コンテスト、講習会などの普及・参加・交流事業を、市の提案事業として実施しました。</li> <li>市の主催事業をはじめとする文化芸術のイベント・講座情報を、「市内文化施設イベント情報」(市HP)や「文化芸術メール」(小江戸川越メール配信サービス)により発信しました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	文化芸術振興施設提案事業満足度(%)	97	98.0	98.4		
	文化芸術メール配信数(件)	294	164	146		
現状・課題	文化芸術メール配信数は減少していますが、文化芸術振興施設提案事業満足度は、高い水準を保ち、おおむね順調に進捗しています。					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズを事業の企画に反映するなど、引き続き良質な文化芸術の鑑賞機会の提供に努めます。</li> <li>文化芸術メールやツイッターなどのSNSを積極的に活用し、文化芸術のイベント・講座情報の一層の提供に努めます。</li> </ul>					

細 施 策	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	次代を担う子どもたちが、文化芸術を鑑賞し、学ぶことのできる機会の充実を図ります。					
前年度の改善の方策等	引き続きオーディションを実施し、アウトリーチを行う人材の発掘に努めます。					
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子どもの文化芸術体験～アウトリーチ～」として、小学校18校にアーティストを派遣し、使用楽器や演奏曲の説明を交えた演奏会を実施しました。</li> <li>人材(アーティスト)の発掘については、1月に「人材発掘公開オーディション」を開催し、一次審査を通過した6組から2組の合格者を決定しました。合格者2組を、翌年度から2年間アウトリーチとして小学校へ派遣します。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	アウトリーチ実施校数(校)	7	12	18		
現状・課題	アウトリーチ実施校数は増えており、順調に進捗しています。					
改善の方策等	引き続き、アウトリーチを行う人材の発掘に努めます。					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施策の柱		(3) 文化芸術に触れる機会づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化芸術が身近にある環境づくり	文化芸術振興課	B	A	A
	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 意見	なし				



細 施 策	①文化芸術活動への支援				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	B
施策の内容	・文化芸術活動を行う市民の発表機会の充実を図ります。 ・文化芸術分野で功績のある人や振興に寄与した人への顕彰を行い、市民の文化芸術活動を支援します。					
前年度の改善の方策等	引き続き、若い世代にも興味を持ってもらうため、ホームページやメール配信サービス、ツイッター等の媒体を活用した情報の周知などに努めます。					
平成30年度実績	・川越市民文化祭や川越市総合文化祭、川越市美術展覧会等を継続して開催するとともに、文芸川越第39号を刊行しました。 ・文化スポーツ顕彰を平成27年度に創設以来、初めて川越市文化賞を授与しました。					
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	市民文化祭の事業数(件)	26	26	26		
現状・課題	市民文化祭については、主催団体である川越市文化団体連合会内において入会・退会があったものの、事業数は前年と同じ水準を保ち、おおむね順調に推移しています。高齢化が課題となっているため、引き続き若い世代へ参加を促すことが必要です。					
改善の方策等	若い世代にも興味を持ってもらうため、ホームページやメール配信サービス、ツイッター等の媒体を活用した情報の周知などに努めます。 各関連団体やメディア等から情報を収集し、各学校等とも連携して顕彰の候補対象者等の抽出に務めます。					

細 施 策	②文化芸術活動の場の整備						担当課	担当課評価	
							文化芸術振興課	B	
施策の内容	市民の芸術鑑賞や活動・発表の場である文化施設やウェスタ川越大ホール等の適切な運営管理を図ります。								
前年度の改善の方策等	・文化施設の利用者数が増加するよう、各施設の特徴をホームページなどで広報するなど、施設の利用促進に努めます。 ・老朽化した文化施設について、計画的な改修に努めます。								
平成30年度実績	・ウェスタ川越大ホールの稼働率は、前年度と比較すると微減になりますが、高稼働な状況を継続しています。 ・やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールの利用者数は、やまぶき会館を除き前年度と比較して利用者数が増加しています。								
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30					
	ウェスタ川越大ホール区分稼働率(%)	71.5	75.2	73.0					
指標及び説明	【指標】文化施設の利用者数			【説明】やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールの利用者数					
指標の推移	単位	基準値(H26)	実績値						目標値(R2)
			H27	H28	H29	H30	R1	R2	
	人	311,899	309,023	301,354	280,143	282,212			321,000
現状・課題	・ウェスタ川越大ホールの区分稼働率は高稼働な状況で、おおむね順調に推移しています。 ・やまぶき会館・西文化会館・南文化会館・川越駅東口多目的ホールについては、老朽化への対応が必要です。 ・ウェスタ川越の指定管理期間が令和元年度に終了することから、新たに指定管理者を選定する必要があります。								
改善の方策等	・文化施設の利用者数が増加するよう、施設の利用促進に努めます。 ・老朽化した文化施設について、計画的な改修に努めます。また、施設設備の適切な維持管理に努めます。 ・ウェスタ川越の指定管理者選定に当たっては、利用者の支障とならないよう円滑に進めます。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実  
 【施策の柱】 (4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進

細 施 策	③文化交流の促進				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	B
施 策 の 内 容	文化芸術関係団体相互の交流を促進し、ネットワークの充実を図ります。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	実行委員会を主体として各関係団体と連携し、多種・多様な団体の参加・交流を促すことにより、更なる参加者数の増加に努めます。					
平 成 3 0 年 度 績 実	川越市総合文化祭は平成27年度から開催し、今回で4回目の開催となりました。平成30年度は体験講座の講座数を増やし、より魅力ある事業を目指しました。猛暑の影響により入場者数は昨年度と比較して減少したものの、夏の恒例事業として定着しつつあります。 また、文化祭終了後には、参加団体全体で反省会を兼ねた懇親会を開催し、参加団体相互で交流を深めました。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	総合文化祭参加団体数(団体)	43	40	43		
現 状 ・ 課 題	参加団体数は40団体程度の参加で推移しており順調に進捗していますが、大ホール舞台公演と多目的ホール作品展示の両会場とも訪れる参加者・来場者はまだ少なく、参加団体の交流について改善する必要があります。					
改 善 の 方 策 等	実行委員会を主体として各関係団体と連携し、多種・多様な団体の参加・交流を促すことにより、更なる参加者数の増加に努めます。					

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保護と文化芸術活動の充実

施 策 の 柱		(4)文化芸術活動への支援と文化交流の促進				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価	
			細施策	施策の柱		
施 策 評 価	①文化芸術活動への支援	文化芸術振興課	B	B	B	
	②文化芸術活動の場の整備	文化芸術振興課	B			
	③文化交流の促進	文化芸術振興課	B			
学 識 経 験 者 等 意 見	文化施設の利用者の減少が高齢化によるものだと考えた場合、文化芸術活動に限らずあらゆる活動において同じような傾向が見られるため、市全体で今後について検討していただきたい。					B

【施策の柱】(5)美術館の充実

細 施 策	① 展覧会等の充実						担当課	担当課評価
							美術館	A
施策の内容	市民が親しみやすい展覧会の実施や体験型のイベント等を企画し、市立美術館の利用機会の向上を図ります。							
前年度の改善の方策等	引き続き子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、広報川越、川越市立美術館ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、プレスリリース、ちらし・ポスターの掲示等により広く周知を図ります。							
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示室については年4回、相原求一朗記念室については年5回の展示替えを行いました。また、タッチアートコーナーについては、年4回開催しました。※(春)斉藤和子彫刻展、(夏)絵本展示「にじいろのさかな」、(秋)石上城行展、(冬)海崎三郎彫刻展</li> <li>・特別展については、年4回開催しました。※(春)日本のシュルレアリスム展、(夏)にじいろのさかな原画展、(秋)乙女デザイン、(冬)相原求一朗の軌跡</li> </ul>							
指標及び説明	【指標】 ①美術館の常設展観覧者数 ②美術館の特別展観覧者数				【説明】 ①常設展年間観覧者数 ②特別展年間観覧者数			
指標の推移	単位	基準値(H26)	実績値				目標値(R2)	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
	① 人	38,934	33,269	41,917	41,431	50,219		39,000
② 人	28,718	23,653	27,819	29,472	37,770		30,000	
現状・課題	常設展及び特別展ともに目標値を上回っており、順調に推移しています。							
改善の方策等	引き続き子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、広報川越、川越市立美術館ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、プレスリリース、ちらし・ポスターの掲示等により広く周知を図ります。							

細 施 策	② 創作活動・発表の場の提供				担当課	担当課評価
					美術館	B
施策の内容	創作活動や発表の場の提供を通じて、市民が芸術活動に参加する機会づくりに努めます。					
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの利用については、多くの団体が利用できるよう有効活用に努めていきます。</li> <li>・創作室の利用については、新たな利用団体を獲得すべく、市民ギャラリーの利用者等に周知を図るとともに、現在利用している団体に対しても、夜間帯の利用も可能であることを説明し、さらに利用しやすい施設であることを周知していきます。</li> </ul>					
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの年間稼働日数については、稼働日数279日／年間日数299日となっています。</li> <li>・創作室の年間稼働コマ数については、稼働コマ数341コマ／年間稼働コマ数897コマとなっています。</li> <li>・創作室の利用団体については、平成30年度中に新たに4団体が加わりました。</li> </ul>					
成果実績	項目名(単位)		H28	H29	H30	
	市民ギャラリーの年間稼働日数(稼働日数／年間日数)		88.85%	90.57%	93.31%	
	創作室の年間稼働コマ数(稼働コマ数／年間コマ数)		30.63%	31.20%	38.02%	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの年間稼働日数については、概ね順調に進捗しています。</li> <li>・創作室の年間稼働コマ数については、午後5時から午後8時30分までの時間帯の利用は依然少ない状況ですが、利用総コマ数は前年度と比較し増加しています。</li> </ul>					
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの利用については、多くの団体が利用できるよう、引き続き有効活用に努めていきます。</li> <li>・創作室の利用については、新たな利用団体を獲得すべく、市民ギャラリーの利用者等に周知を図るとともに、現在利用している団体に対しても、夜間帯の利用も可能であることを説明し、さらに利用しやすい施設であることを周知していきます。加えて、SNSでも周知していきます。</li> </ul>					

【施策の柱】 (5)美術館の充実

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化		担当課	担当課評価				
			美術館	A				
施 策 の 内 容	学校教育と連携した教育普及活動を行うとともに、子どもたちが文化芸術活動を体験できる機会の充実に努めます。							
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き各種事業を実施し、市民に広く発表することで美術教育に対する理解と認識を深めていきます。							
平 成 3 0 年 度 績 実	○教育普及事業 113事業 延参加者数18,074人 ・主に子ども(中学生以下)が参加できる事業 45事業 延参加者数14,456人 ・主に大人が参加できる事業 34事業 延参加者数919人 ・誰でも参加できる事業 8事業 延参加者数 2,417人 ・教員向け事業 26事業 延参加者数282人 ○上記の内、主な学校教育との連携事業 ・川越市立中学校美術部の祭典 出品生徒数473人 観覧者数1,846人 ・川越市立小学校6年生バス見学 32校 延参加者数2,959人 ・川越市内児童生徒作品展 3作品展 延観覧者数5,993人							
指 標 及 び 説 明	【指標】	【説明】						
	川越市立中学校美術部の祭典の参加校数	川越市立中学校美術部の祭典に参加した中学校数						
指 標 の 推 移	単位	実 績 値					目標値	
		基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2
	校	20	21	20	21	21		22
現 状 ・ 課 題	川越市立中学校美術部の祭典の参加校は昨年と同じ学校数でした。参加できなかった中学校には美術部がないため、「美術部の」とある以上参加が難しいものと考えます。多くの教育普及事業が実施できたので順調に進捗しています。							
改 善 の 方 策 等	引き続き各種事業を実施し、市民に広く発表することで美術教育に対する理解と認識を深めていきます。							

施 策 の 柱	(5)美術館の充実				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①展覧会等の充実	美術館	A	A	
	②創作活動・発表の場の提供	美術館	B		
③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	美術館	A			
学 識 経 験 者 意 見 等	美術館の観覧者数は順調に推移しているため、今後も魅力ある特別展の企画に努めていただきたい。				A